

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4) 評価実施年度	平成 21 年度
(5) 評価責任者職名	企画振興部長
(6) 評価責任者氏名	堂山 敏夫
(7) 評価者	

(1) 政策	コード 26	名称 (3) 郷土愛を支える交流のまちづくり
(2) 基本施策	コード 54	名称 ②地域資源を活かして、他地域と交流する
(3) 生活課題	54	地域の資源を活かした交流が広がっている

(9) 継続・新規 (21,22,23,24)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12) 事業費(千円)			(13) H22投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)	1次評価結果					(17) 指標の単位	(18) 評価類型		
					H20 決算額	H21 予算額・補正要求額	H22 要求見込額	人	人件費		(14) 指標名	指標の数値		個別評価					
												(15) 20年度(実績)	(16) 22年度(目標)	(19) 必要性	(20) 有効性			(21) 達成度	(22) 効率性
継続	120-1	都市間交流推進事業(大津市との交流)	40200	企画振興部文化国際課	771	946	946	0.4	2,880	参加人数(大津市から伊賀市)	33	35人	I	3	2	4	4	C	現状維持
継続	120-2	都市間交流推進事業(カンオペアの会)	40200	企画振興部文化国際課	514	435	435	0.2	1,440	体験学習参加者数	16	50人	I	3	3	3	3	C	変更
継続	120-3	都市間交流推進事業(関連都市との交流)	40200	企画振興部文化国際課	377	113	370	0.1	720	奥の細道サミット参加	1	1回	I	3	2	4	3	C	変更

(25) 1次評価修正有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	2次評価			(33) その他の改革改善点について
				(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	
					2G	f	大津市と協議し、事業の見直しを行う。
					3G	c	コストを削減し、事業内容の見直しを行う。
					1G	b	事業の充実を図る。観光振興としてのとらえるかの検討を行う。